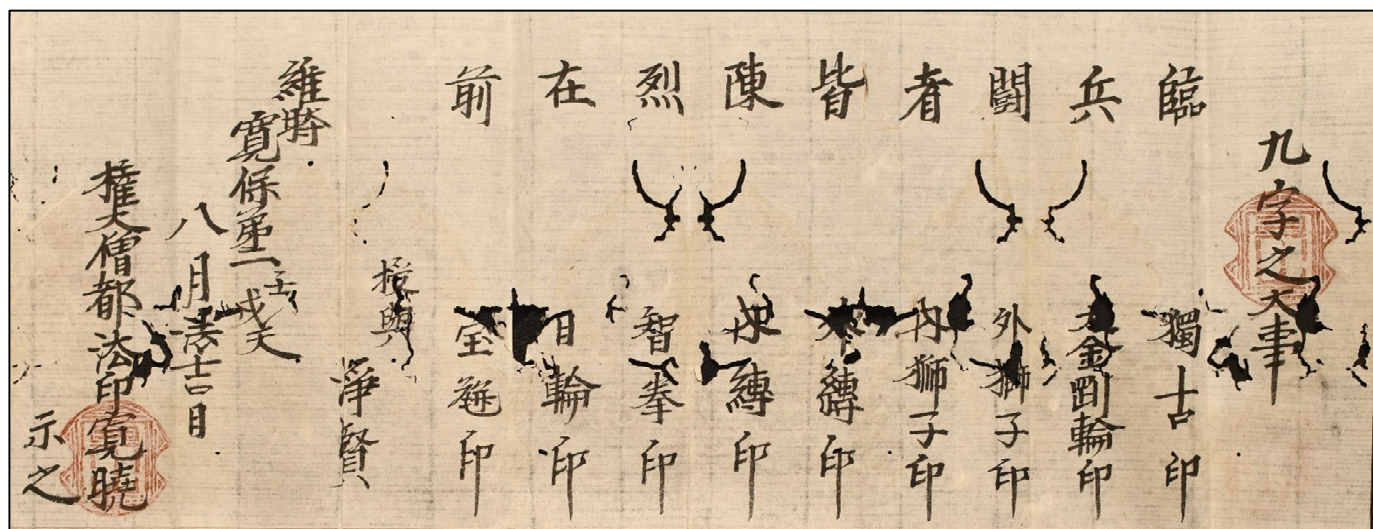


あつぎ郷土博物館NEWS5月号

好評
開催中

「荻野地域展」① 荻野の古文書資料から 臨兵闘者皆陳烈在前！



開催中の「荻野地域展」、ご覧いただけたでしょうか。各分野で、荻野地域の目玉、象徴となる「お宝」が取り上げられています。歴史分野では、新たに寄贈を受け博物館所蔵資料となった「千葉家文書」「荻野神社資料」を中心に、荻野地域の信仰に深く関わる古文書資料を展示しています。

「千葉家文書」とは、下荻野子合^{こあい}にあった修験道の寺院、光善院^{こうぜんいん}そして量宝院に関連する古文書群です。光善院は、明治5年(1872)に出された修験道禁止令によって天台宗の寺院となり、その後も出開帳^{でがいちょう}、国峰修行を行うなど活発な宗教活動を続けますが、明治30年頃には廃寺となります。

「千葉家文書」には、徳川家康など歴代徳川将軍の朱印状^{しゅいんじょう}の写しをはじめ、師僧から授与された免許状(印可)^{いんか}、仏典などの宗教書、大山阿夫利神社への願掛けを取り次いだ文書など多くの資料が残されています。光善院は寺子屋も経営していましたが、そこには381名もの筆子、荻野地域だけではなく三田や妻田、飯山の子どもたちも通っていました。また、「千葉家文書」には、子合地蔵尊^{こあいちざう}に関する縁起^{えんぎ}、出開帳資料など興味深い古文書も含まれ、これも展示中です。

写真の「九字之大事」は、印可の一つ。寛保2年(1742)に権大僧都法印・寛暁^{かんぎょう}から光善院10世浄賢^{じょうけん}に授与されたもので、「臨兵闘者皆陳烈在前」の9文字と独鉗印^{どっくいん}など対応する手印^{しゅいん}が記されています。修験者は、この9文字とともに9種の手印を結び、魔除けや災いを取り除く「九字護身法」^{くじごしんぼう}を行いました。

あつぎ郷土博物館 5月の予定

日	曜日	行 事 内 容	講師等	時 間
博物館が一つの地域に取り組む「荻野地域展」が始まりました *毎週土曜は13時半から担当学芸員が、土曜ギャラリートークを実施！				
8	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
10	土	地域展ギャラリートーク 荻野④	当館学芸員	13:30 ～14:00
15	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
17	土	地域展ギャラリートーク 荻野⑤	当館学芸員	13:30 ～14:00
22	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
24	土	地域展ギャラリートーク 荻野⑥	当館学芸員	13:30 ～14:00
26	月	休 館 日		

事業
案内

友好都市を知る 糸満展の準備から

博物館は、7月の下旬から友好都市展の第二弾、「いとまんの文化と自然」を企画しています。沖縄、糸満といえば、青い海、海人たちを想像される方も多いかと思います。しかし、糸満はアギャーと呼ばれる追い込み漁、有名なハーリーだけではなく、ゴークルの原型ミーカガン、これは糸満市の指定文化財です。漁業をカミアキネー（魚売り）で支えるイチマンアンマー（糸満女性）…。

ご紹介したいことがありすぎて、博物館の企画展示室に入りきりません。次号から展示が終了する9月号まで毎月お伝えします。



▲具志川グスク（糸満市喜屋武）

- あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始（12/29～1/3）
- 古民家岸邸 開館時間 午前10時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
休 館 日 月曜日と火曜日（祝日の場合は翌平日） 12/25～1/3



（申込み・問合せ） あつぎ郷土博物館
〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515
Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046-246-3005